

大類所長 退官

昭和42年3月 東北地方建設局 新庄工事事務所採用となられてから38年間、三春ダム管理所長として、平成15年4月から平成17年3月までの2年間ご公務された大類所長ですが、この度、退官されることとなりました。これまでのご功績に対して心から感謝の念をささげる次第です。これからの第二の人生も、お体に気をつけて実り多いものにしてください。



38年間
ご苦勞さまでした。



地域の意見を返す会

日頃より三春ダム管理においてご理解ご協力頂きましてありがとうございます。本報告では、現在三春ダムで取り組んでいる「水源地域ビジョン（案）」の一環で「地域の意見を返す会」について述べさせていただきます。

あくまで地域の方々が主役です。物を作ったり整備するものではなく、地域活性の行動計画を策定するものです。

では、今年度行いました「返す会」と言いますと合計5回行いました。内容は、地域で取り組んでいる水質対策の発表、ダム見学、ダムの流木への有効な処理方法、地域の宝探し等を行いました。特に水質対策は近年興味のある方が増えてきており活発な意見交換が行われました。

意見を返す会を今年度から開催しておりますが、行動計画を策定するまでには到りませんでした。来年度も引き続き返す会を開催し、策定に向けて皆さんと一緒に一歩

一歩進んで行きたいと考えております。来年度の開催計画は未定ですが、この機会に興味のある方は是非、三春ダム管理所までご連絡下さい。よろしくお願い致します。



「地域の意見を返す会

～三春ダム見学会～」

平成16年8月の様子

堆積土活用報告会

平成 17 年 3 月 2 日（水）に管理所会議室で、堆積土の活用に関する報告会が行われました。平成 14 年から「ダム堆積土を農業分野で活用できないか」ということで管理所でも検討を始めました。この報告会では農業関係の方々に集まって頂いて、今後の進め方やここに注目してみてもいいかといったアドバイスを頂いています。昨年の 3 月に続いて、今年で 2 回目の報告会となりました。



報告会の様子



東北大学大学院農学研究科植物病理学分野
による研究発表

これまで行ってきた検討の流れと今年度の栽培結果について管理所から説明した後、東北大学で行った実験結果の報告も行われました。

報告の後には、試験に使う堆積土を採取するときに気をつけることや、こういう点に着目したら評価できるのでは？といった貴重なアドバイスをいただきました。

まだ、堆積土を農業で活用するには調査の足りない点があるので、管理所では来年度も継続してこの検討を進めることにしています。

警報車の更新について

電気通信係 榎本

この度、当管理所の警報車（三菱パジェロの老朽化に伴い、トヨタハリアーが新たに導入されました。警報車はダム放流前の巡視等に使用しており、今後の活躍が期待されております。新車と同じく、気持ちも新たに、管理所一同頑張っていきたいと思っております。



「西方地区光ケーブル工事」 完了のお知らせ

第42号さくら湖管理ニュースで御協力をお願いしておりました「西方地区光ケーブル工事」が去る3月10日に完了しました。今回の工事で三春ダムから赤沼水位観測所までの間の約9キロにわたり光ケーブルを敷設することが出来ました。下流域の皆様におかれましては、工事期間中多大なる御協力を頂きまして誠にありがとうございました。



水と緑の写真コンテスト 入賞作品展 開催中

さくら湖は、植物のヤツデの葉の形をした人造湖です。人間はもとより生きるもの全てにとっての大事な水がめで、自然との調和を保ちつつ四季折々の美しい景観を見せ、潤いのある場として人々の心を和ませてくれます。この美しい景観をもつ『さくら湖』の自然環境をいつまでも残すことは、今に生きる私たちの責務です。多くの人々にこの環境保全の大事さを知っていただくために、昨年10月に写真コンテストを開催いたしました。

このコンテストの入賞作品（一般の部 16点、少年の部 18点）を三春ダム資料館で5月8日（日）まで開催しています。



一般の部 推薦
『夕照の春田大橋』
高橋 昭男



少年の部 推薦
『朝焼け』
佐久間 智生

ミ〜ちゃん＆んんくんの なぜ?なに?さくら湖

Q1. 三春ダムが建設に伴い、発掘された遺跡
などありますか?

A. 三春ダムが建設されることで、川沿いの発掘調査が昭和58年に開始され、平成7年にすべてが終了しました。西方前遺跡、西方館跡、春田遺跡、柴原A遺跡、前ノ久保遺跡など発掘された遺跡は24ヶ所ありました。少しご紹介しますと・・・

柴原A遺跡は、現在の柴原多目的運動公園がある場所で発掘された遺跡です。縄文時代中期後半から縄文時代後期前半に竪穴住居跡やお墓、土器や土偶などが見つかりました。

西方館跡は、三春ダムを見下ろす展望台にあり今から約400年～450年前につくられた館跡です。主な遺構は、本丸の門跡・掘立柱建物跡・平場・土塁・空堀などが発掘されました。



さくら湖周辺の
遺跡を展示



さくら湖周辺写真図



三春ダム資料館では、発掘された遺跡の展示や、水没してしまった施設や神社、遺跡の場所を標したパネルを展示しています。
また「さくら湖周辺写真図」を縮小印刷したものもご用意しております。

資料館からのお知らせ

「春の物産展」

三春ダム資料館1階では、

5月8日(日)まで

春の物産展を開催しています。



お近くにお越しの際には、是非お寄り下さい。

自然観察ステーションからのお知らせ

●ステーション昆虫所蔵展 開催

4月15日(金)～5月15日(日)まで
甲虫の標本を常設展とは別に展示します。

●星を見る会

22日(金) 午後7時～9時

●春の味覚を楽しもう

4月24日(日)

参加希望の方は、前日までに

自然観察ステーション

(0247) 61-1546 か

三春交流館

(0247) 62-3837

にご連絡ください。

編集後記



さくら湖周辺にわずかに残っていた雪もすっかり消え少しづつ緑が見えるようになって、ダム周辺を散策する人も心なしか多くなってきたような気がします。平成16年度としては今号で終わりになります。来月号からは、編集スタッフも若干変わることとなる予定ですが、今後もタイムリーな話題、わかりやすい内容、を目指して頑張っていきたいと思えます。(長岐)

編集・発行

国土交通省

東北地方整備局

三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の提供を

お待ちしております。

〒963-7722

福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内 403-4

TEL 0247-62-3145 FAX 0247-62-3170

ホームページアドレス

<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu>